

# 数学C「ベクトル」 No. 3

## (1) 位置ベクトル (分点の公式 中点・重心の公式)

定点  $A(\vec{a})$ 、 $B(\vec{b})$ 、 $C(\vec{c})$  として、次の点の位置ベクトルを求めよ。

① 線分  $AB$  を 2 : 3 に内分する点

② 線分  $AB$  を 1 : 3 に外分する点

③ 線分  $AB$  の中点

④ 三角形  $ABC$  の重心  $G$

## (2) 加重心の問題

$\triangle ABC$  の内部に点  $P$  が、 $\vec{PA} + 3\vec{PB} + 4\vec{PC} = \vec{0}$  を満たしている。

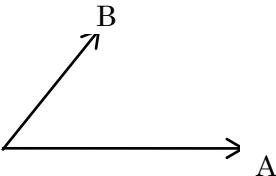
① 点  $P$  はどんな位置にあるか。

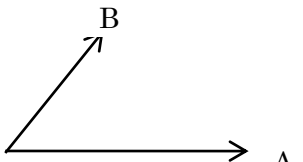
② 面積比  $\triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB$  を求めよ。

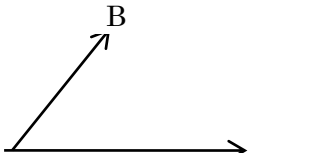
## (3) ベクトルの線型和問題

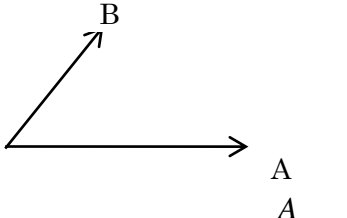
( $\vec{OA}, \vec{OB}$  を基底とするベクトル座標)

$\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$  ( $A, B$  は定点、 $s, t \in R$ ) のとき、次の各場合に点  $P$  の存在範囲を図示せよ。

①  $s + t = 1$   


②  $s + t = 1, s \geq 0, t \geq 0$   


③  $s + t \leq 1, s \geq 0, t \geq 0$   


④  $s + 2t \leq 2, s \geq 0, t \geq 0$   


( ) 組 ( ) 番氏名 ( )

## (4) 計量の問題 (大きさとなす角の問題)

大きさ  $|\vec{a} + t\vec{b}|$  の最小値問題、幾何の証明 (長さ、垂直)  
3 平方の定理、中線定理、直径の円周角  
2 直線  $l: x + 2y - 4 = 0$ 、 $m: x - 3y + 1 = 0$  のなす角  $\theta$  ( $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ ) を求めよ。

(5) 一直線上の証明

## (6) 交点ベクトル問題

$\triangle OAB$  の辺  $OA$ 、 $OB$  を 2 : 1、3 : 2 の比に内分する点をそれぞれ  $P, Q$ 、 $AQ$  と  $BP$  の交点を  $R$  とする。 $\vec{OA} = \vec{a}$ 、 $\vec{OB} = \vec{b}$  として、 $\vec{OR}$  を  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  で表せ。

## (7) 同一点の証明

## (8) ベクトル方程式を求めよ。

① 点  $A(\vec{a})$  を通り、 $\vec{d}$  に平行な直線

② 2 点  $A(\vec{a})$ 、 $B(\vec{b})$  を通る直線

③ 点  $A(\vec{a})$  を通り、 $\vec{n}$  に垂直な直線

④ 点  $C(\vec{c})$  が中心、半径  $r$  の円

## (9) 定点 $A(\vec{a})$ 、 $B(\vec{b})$ と動点 $P(\vec{p})$ がある。

点  $P$  はどのような図形上にあるか。  
①  $|\vec{3p} - 2\vec{a}| = 6$

②  $(2\vec{p} - \vec{a}) \cdot (\vec{p} - \vec{b}) = 0$

## (10) $A(2, -1)$ 、 $B(-2, 1)$ 、 $\vec{d} = (2, 1)$ 、 $\vec{n} = (-1, 3)$ とする。

①  $A$  を通り、 $\vec{d}$  に平行な直線を媒介変数  $t$  を用いて表せ。さらに  $t$  を消去した方程式を求めよ。

② 2 点  $A, B$  を通る直線を媒介変数  $t$  を用いて表せ。さらに  $t$  を消去した方程式を求めよ。

③  $A$  を通り、 $\vec{n}$  に垂直な直線の方程式および座標を用いた方程式を求めよ。